

第7回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成17年11月 1日(火)

午後2時00分～3時45分

場所：丸子ふれあいステーション 3階 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

第6回委員会の会議録について

4 議題

- (1) 第1次選定候補エリアの確認・・・・・・・・・・(別図1)
- (2) 建設可能区域の抽出・・・・・・・・・・(資料1、別図2及び拡大図)
- (3) 委員会の進め方について・・・・・・・・・・(資料2、別図3)
- (4) 候補地の評価項目の検討・・・・・・・・・・(資料3)

5 その他

- (1) 次回委員会 現地調査 11月中旬から12月上旬を予定
- (2) 講演会開催について
日時 12月12日(月)午後1時30分から午後4時まで
場所 上田創造館 文化ホール

6 閉 会

出席委員（12人）

上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
若林 政夫	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
小山 敏子	委員
表 秀孝	委員
川上 清	委員
外山 愷	委員
南波 清吾	委員
柳澤 旨賢	委員
片桐 久	委員

欠席委員（3人）

栗田たか子	委員
宮原 則子	委員
木口 憲爾	委員

出席者 事務局（10人）

上田市役所 廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所 市民課	課長	大村 興敬
丸子町役場 生活課	課長	新井 忠雄
真田町役場 観光商工課	課長補佐兼係長	大久保晴男
武石村役場 建設環境課	課長	掛川 兼司
青木村役場 住民福祉課	課長	中澤知賀雄
長和町役場 町民課	課長	小宮山正幸
上田地域広域連合事務局	事務局長	市村 良夫
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（2人）

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部		
環境施設部	課長	尾葉石 優
環境施設部	主任技師	井土 將博

開会（ 1 時 3 0 分 ）

1 開会

（事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

3 報告事項

（事務局）

第 6 回会議録の確認について

（各委員）

特に変更等の意見なし

4 議題

（ 1 ）第 1 次選定候補エリアの確認

（事務局）

別図 1 （ 1 ）第 1 次選定候補エリアの確認について別図 1 に基づいて説明する。

（委員長）

前回までの第 1 次選定候補エリアの確認について御意見があればお願いしたい。

（各委員）

特に質疑なし。

（ 2 ）建設可能区域の抽出

（事務局）

資料 1 ページ （ 2 ）建設可能区域の抽出について資料 1、別図 2 及び拡大図に基づいて説明する。

（委員長）

前回、第 1 次選定で 7 エリアを除外し、残る 1 4 エリアについて第 2 次選定していくということであるが、項目 2 . 地域特性などについては、内容が抽象的なので候補地を評価する条件としたい。資料 1 にあるとおり、4 ヘクタール以上の区域、主要道路から 5 0 0 メートル以内の範囲に入る、民家やそのほかの建築物が密集していない、などの一定の条件を設定し、建設可能区域を抽出したい。

委員の皆さんの御意見をいただきたい。

(委員)

別図1のみどり色とピンク色の色分けの違いをもう一度説明してもらいたい。

(事務局)

前回の委員会で決定した別図1にある建設可能地域をピンク色で示していますが、4ヘクタールに満たない範囲、民家・建物等がある範囲、主要道路から500m以上離れる範囲以外を建設可能区域としてみどり色で示してあります。

(委員)

資料1にある建設可能区域の抽出条件が4つあるが、水の条件については条件として入れなくてもいいのか。

(事務局)

水の条件については、大変重要な問題であります。今後候補地を抽出し、評価する段階でとり入れたいと考えております。

(委員長)

建設可能区域を抽出したということで、次の議題に進んでよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(3) 委員会の進め方について

(事務局)

資料2ページ (3) 委員会の進め方について資料2、別図3に基づいて説明する。

(委員長)

情報公開については、ホームページ等で公開されているが、まだ関心を持ってもらうには至っていないと思われるので、自治会、区長会連合会等へ委員会の検討結果についてお知らせし、御意見を伺いたい。このことについてはよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(事務局)

次回の委員会では、建設可能区域を現地概要調査するということで、おおむね1日になるように計画したいと考えております。

(委員長)

次回の委員会では、建設可能区域を確認するということで、区域の地形等を把握したい。

(4) 候補地の評価項目の検討

(事務局)

資料 3 ページ (4) 候補地の評価項目の検討について資料 3 に基づいて説明する。

(委員長)

次の段階では、候補地を抽出するということなので、資料 3 にある評価項目について検討するということであるが、御意見をいただきたい。

(委員)

建設可能エリアの第 2 次選定は考えていないのか。

(事務局)

残る建設可能な 1 4 エリアの第 2 次選定としての絞込みは可能であるとは思いますが、候補地になるエリアを除外する可能性もあるかと思しますので、建設可能区域を設定させていただき、候補地を抽出したいと考えております。

(委員長)

かなりの候補地が抽出されると思われるが、建設可能区域にある候補地として重み付けをして評価した場合については、評価については明確に示されるので、候補地となる箇所を除外する危険性はなくなるのではないかとと思われる。

評価項目についての御意見はいかがか。

(委員)

評価項目について矛盾を感じる。例えば、土地の価格については、安価の候補地が有利になるが、逆に自然環境については、不利になると思われるので、評価する基準が明確にならないのではないかと。地域還元施設やごみ問題を教育していく施設なども考えていくと評価する項目を絞り込んだらどうか。

(委員長)

評価する項目についてどの項目を重み付けするのか、どの項目を優先させるかがこの委員会で決定していくのが重要であると思われる。

複数回の絞込みを行わないと最終段階にはならないのではないかとと思われる。どの項目を優先させるか、あるいは、記載されていない項目があるかどうか御意見をいただきたい。

(委員)

候補地を絞り込む評価項目を選定したらどうか。とりあえず周辺環境について廃棄物関連施設の数での評価、土地取得について土地の価格での評価、土地の所有が公有地であるか私有地であるかの評価、災害危険について造成が容易であるかどうかの評価、収集運搬について主要道路へのアクセスの評価、の5項目は第2次選定以降の評価項目としたらどうか。

(委員長)

他に御意見はどうか。

(委員)

地下水の利用での評価も第2次選定以降の評価にしたらどうか。

(委員長)

用水の確保については非常に重要と思われる。

評価する表現についてはいかがか。

(委員)

自然環境の生物への影響については、貴重な生物という箇所を貴重な動植物に、近くいるという箇所を生息しているに変更していただきたい。

(委員長)

貴重な生物が生息しているという表現の方がより具体的になると思われる。今の段階では、公になっている情報のみの作業の段階なので、ある段階では地域住民の方からの情報を得なくてはならない場合があると思われる。また、政策決定への参画についてもどういう形で位置づけるのか、建設候補地決定の欠かすことの出来ない要素であると思われる。

戦略アセスの段階であることから、この委員会で議論することではないという御意見もあると思いますが、しかるべき段階で議論していただきたい。

放流先の環境基準について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

施設を建設した場合、環境基準類型が厳しいほど水処理する施設整備に関わる建設コストが上昇するというごさいます。

(委員長)

放流先の環境基準によって建設コストに差が出るということなので、候補地選定には大きな影響があるという認識を持っていただきたい。

事務局として第2次選定以降とした項目以外の項目で作業は進められるか。

(事務局)

評価の考え方については、かなり抽象的な表現でありますので、候補地評価項目に基づいて地域の特性などもお示ししたいということも必要ではないかと思われま

す。数値評価の基準などについてご提案させていただき、候補地を評価したいと思います。先日、広域連合議会がありまして、議員さんからご指摘をいただきましたのでお伝えしたいと思います。

一つ目として、委員会の検討経過から今年度中に提言書を出すことができるのか。

二つ目として、生ごみについて減量していく施策も検討しなければ、理解が得られないのではないか。

三つ目として、地域住民の方に理解していただきながら候補地の検討を進めなければ、非常に厳しい事態が予想される。

以上3点についてのご指摘がございました。

(委員長)

委員会の共通理解として認識しておきたいので、次回の委員会に指摘された事項について情報を提供していただきたい。

特に候補地の対象地域の住民の方からの理解をどのようにしていくのか、非常に重要な問題である。

候補地の評価項目として議論していただきましたが、廃棄物関連施設、用水の確保、土地価格、土地所有の状況、造成の容易性、主要道路へのアクセスについての6項目以外を評価項目とすることでよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

他についてはいかがですか。

(委員)

第8回の委員会については、現地概要調査として11月中としても、第9回の委員会については、自治会、区長会連合会などについての説明などを実施することを考えると1月以降と考えていいのか。

(事務局)

自治会、区長会連合会等への説明については、様々な御意見が予想されますので、建設可能区域などの説明についても十分行いたいと思います。状況は分かりませんが、第9回の開催時期については、年明けということも考えられます。

(委員長)

第9回以降については、委員会の開催頻度のペースも上がるかもしれません。

(委員)

来年3月6日に新上田市の発足などがありますが、期限が決められた中で早々に結論を出して良いのか。あるいは、来年度に継続した形で候補地の検討をするのか。どこかで決めておかなければならない事項であると考えているが。

(委員長)

第9回の委員会については、今後の見通しも含めて委員会のまとめ方を議論していただきたい。スケジュールを事務局として示していただきたい。

(事務局)

承知いたしました。

5 その他

(事務局)

次回委員会について現地概要調査11月中に開催したい。

12月12日にごみ問題についての講演会のチラシをお配りさせていただきました。講演会の中で資源循環型施設建設候補地選定委員会の第7回までの検討経過などをご報告してまいりたい。大勢お誘いいただきましてご参加いただければと考えております。

(委員長)

本日はこれで終了としたい。

6 閉会

(事務局)

閉会(3時45分)